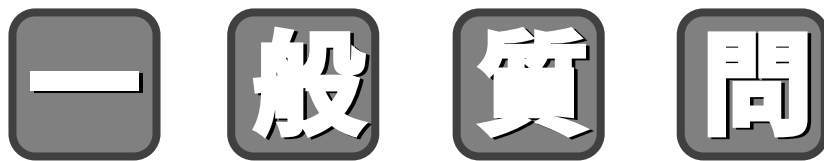


平成16年度 財政収支概要

(単位：千円)

区 分	一般会計	特 別 会 計								合 計
		国民健康 保険事業	老人保健	住宅新築 資 金 等 貸付事業	農業集落 配水施設 事 業	公共下水道 事 業	公共用地 先行取得 事 業	市営停車場 事 業	市 バ ス 事 業	
歳入決算額 (A)	11,786,180	3,369,767	4,509,207	17,625	33,513	785,008	0	10,483	32,433	20,544,216
歳出決算額 (B)	11,673,827	2,984,034	4,531,502	26,879	33,513	766,777	0	8,280	32,433	20,057,245
形 式 収 支 (A-B) (C)	112,353	385,733	△22,295	△9,254	0	18,231	0	2,203	0	486,971
翌年度へ繰り越す べき財源 (D)	83,258	0	0	0	0	0	0	0	0	83,258
実 質 収 支 (C-D) (E)	29,095	385,733	△22,295	△9,254	0	18,231	0	2,203	0	403,713
前年度実質収支 (F)	156,985	354,916	△39,223	△970	0	23,955	0	1,693	0	497,356
単年度収支 (E-F) (G)	△127,890	30,817	16,928	△8,284	0	△5,724	0	510	0	△93,643
積立金積立額及び 市債繰上償還額 (H)	475	0	0	0	0	0	0	0	0	475
積立金取り崩し額 (I)	250,000	0	0	0	0	0	0	0	0	250,000
実質単年度収支 (G+H-I)	△377,415	30,817	16,928	△8,284	0	△5,724	0	510	0	△343,168



9月議会にて、5人の議員が市政に付いて一般質問を致しました。
質問の要旨については次のとおりです。

発言者氏名		質 問 の 要 旨
9 月 8 日 (木)	古川哲也	1. 豊前市内の公共施設のアスベストの件について 2. 道路の事故状況について 3. 市町村合併について
	宮田精一	1. 公共施設に於けるアスベスト対策について 2. 地元中小企業の仕事確保と入札制度の改善について
	尾家啓介	1. 公共工事の入札改善について 2. 豊前市職員の採用と教育について 3. 新北九州空港の開港に関連して
	爪丸裕和	1. 公共事業の見直しについて 2. 入札制度について
	山崎廣美	1. 干ばつ対策について 2. 農業委員会委員定数について

古川 哲也 議員の質問

1. 豊前市内の公共施設のアスベストの件について

議員 豊前市において、アスベストが、いまだ存在するのか、今後、どのように改善するのかお聞きしたい。

財務課長 市の公共施設について、アスベスト使用の現状調査を実施し、疑いのある施設について専門業者に分析を依頼中、その結果で、対策を検討する予定である。現在、被害にあった人の報告は、受けていない。

議員 10年前ぐらいに、アスベストの問題が一度話題になった時、改善されたと思うが何故、今問題が全国的に吹き上がって被害が出ているのか。

財務課長 昭和62年度に、中小学校をはじめとする施設の調査があり、石綿の吹き付け剤と、石綿を、5%以上含むロックウールという繊維があった。これが規制にかかり、5%以上については、その時点で除去された。今回、法が規制され更に、5%が1%に強化された。

議員 豊前市の公共施設にアスベストを使用していたと、わかった場合、施設を改善する場合の予算は、国から補助金等が出るのか。

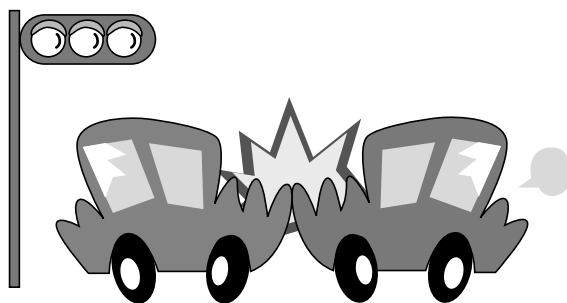
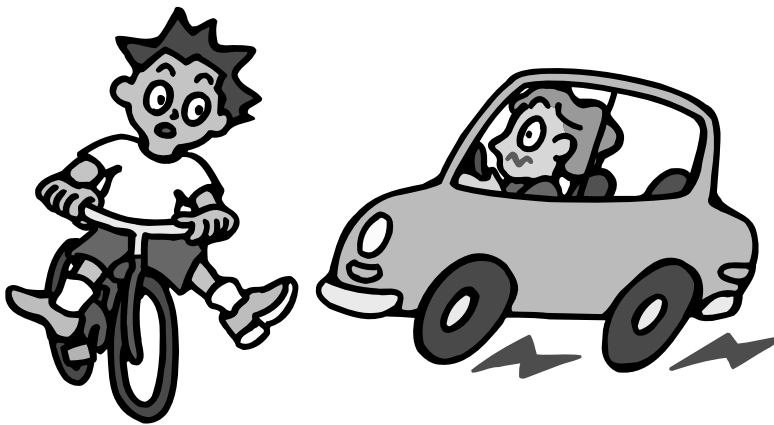
財務課長 国の方針が、はっきりしておらず、予算措置がされるのかというのは、現在のところ分かっていない。

2. 道路の事故状況について

議員 事故の多発場所はどこか又、原因は何か、お聞きしたい。

総務課長 昨年の人身交通事故の発生場所と件数は、船入バス停付近14件、皆毛国道10号線バイパス工業団地入り口交差点付近6件、三毛門駅入り口交差点6件、宇島港入り口交差点5件、千束10号線バイパス交差点付近5件となっており、交通事故の半分は、新旧10号線の交差点付近で発生している。原因としては、スピードのだし過ぎ、わき見運転、見にくい交差点、信号等色々ある。市としては、取締り機関、指導機関、啓発機関と協力し、市民の交通事故防止に努めたい。

建設課長 二葉交差点付近は、スピードの出しやすい場所で、減速表示や、交差点、分離帯の雑草の処理、不必要な防護柵及びコンクリート等を撤去した。豊前署にて、調査した結果、交通事故の原因は、殆ど安全確認不足、わき見運転、前方不注意、注意不足であった。



3. 市町村合併について

議員 合併新法は、どうなっているのか、合併はどのように進捗しているか。

市長 新法では、第一に、都道府県は、総務大臣の定める基本方針に基づき、市町村の合併の推進に関する構想を策定する。第二に、知事は、市町村合併調整委員を任命し、合併協議会に係る斡旋・調停を行わせることができる。第三に、知事が合併協議会設置又は、合併協議会推進勧告により、市町村の合併を推進するという内容がある。合併特例債が廃止になるが、合併に関する特例措置として、地方税の不均一課税、議員の在任特例、3万市特例は、引き続き適用となる。合併の進捗状況は、選挙後すぐに、吉富町長と話し合いをした。今後も、色々な形でアプローチをして行き、任期中、早い時期に合併したいと考えている。

宮田 精一 議員の質問

1. 公共施設に於けるアスベスト対策について

議員 市内の公共施設の調査は行ったのか。この問題に対する市の対応基本姿勢はどういったものか。

財務課長 先程、古川議員の質問に答えたとおりだが、国や県の状況を踏まえ、アスベストが確認された施設については、必要な対策や予算措置を行っていききたい。

2. 地元中小企業の仕事確保と入札制度の改善について

議員 住宅リフォーム助成制度を創設し、地元中小零細業者の仕事の確保、地域経済の活性化を図らないのか。
入札制度の改善についてこれまで執ってきた対策と成果はどうなっているか。

財務課長 住宅リフォーム助成制度の創設は、現在の財政状況では、導入は困難である。
小規模工事登録制度については、豊前市建設工事に係る指名競争

入札参加の資格及び審査に関する要綱に基づき、行っている。

工事は基本的には、指名競争入札により発注しているが、小規模な工事や修繕は、市内業者の育成と受注機会の拡大を図る観点から、地元業者と随意契約を実施している。

入札制度の改善は、平成13年10月、平成15年10月に、実施し、平成17年6月からは、指名業者数を、1千万円以上を5社から10社へ、仕様書交付方法の見直し、予定価格の事前公表の廃止を実施しているが、効果については、見直をしてから3カ月であり、今暫く状況を見たいと考えている。

議員 随意契約のシステムについて説明を求む。

財務課長 130万円以下小規模工事、修繕については、複数の地元業者に見積書の提出を願う、その中で決定している。

議員 入札制度が今年6月に改善された後の、指名競争入札で8月9日から8月26日までの財務課長報告、上下水道課長報告を見ると、14件中予定価格が95%以上6件その内2件は、1

00%である。
オンブズマンの評価では、95%以上は、ほぼ談合と見て間違いないといっている。

これは、談合ではないか見解を聞きたい。

財務課長 100%という結果になっているが、談合している状況は確認されてない。

議員 総合規制改革会議等によると 指名競争入札が多く採用され、談合が相変わらず広く行われていると思われる。一般競争入札や、公募型指名競争入札を積極的に採用し、競争の条件を整備すべきである。
同時に、談合発覚時は、損害賠償請求、業者名の公表などペナルティー強化も積極的に行うべきである。

官公需法などで、中小企業に一定の受注があらかじめ確保されている。また、地域要件の設定、地域業者とのジョイントベンチャー（合併事業）地元事業の下請けでの活用が求められるなど、競争を阻害する要因が存在するためできる限り是正するべきである。

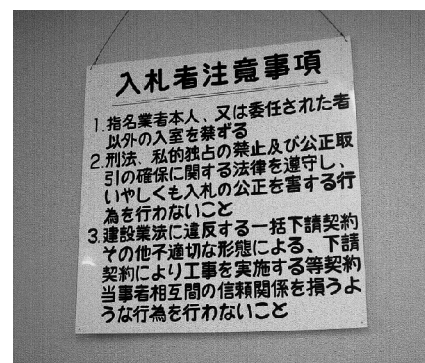
一般競争入札の導入で、ダンピングが発生しかねない。それ

を防ぐため、低入札価格調査制度を活用すべきであるとの3点が言われている。

豊前市は指名競争入札になっているが、一般競争入札または、条件付一般競争入札に、変更するつもりはないのか。

財務課長 条件付一般競争入札については、実施する自治体が増えていると認識している。一般的に事務量が増え、手続きに時間がかかるなど問題があり、

今後の検討課題としたい。



尾家啓介 議員の質問

1. 公共工事の入札改善について

議員 日本道路公団での談合事件、荻田町の設計価格漏洩事件、公共工事に関する2つの事件について執行部の考え方を聞きたい。

8月9日に、談合防止する新しい入札方法で、5件入札を実施この方法で、談合が防止されたのか、聞きたい。

指名競争入札から一般競争入札に移行する考えはあるのか。

助役 この2件は、ともに発注者側の不正で、発注者側である国や地方自治体の入札制度改革が、急がれている。当市も遅れることなく努力したい。当市発注予定工事で、市民の不審を招くような噂が起きたとしたら、噂の信憑性を調査し、疑いが強いと判断されれば、業者選定の見直しを行うことが適切な対応措置と考えている。

財務課長 事前に指名業者が分かったと推測されるということだが、入札関係の規則、或いは要綱を遵守いたしており、情報が入札から漏れることはないと考え

える。

高値さぐりの談合入札が行われたとは考えてない。見直しを行って3ヵ月、今暫く状況を見た」と考える。

一般競争入札は、実施する自治体が増えているが、事務量が増え、手続ぎに時間がかかるなど現在、検討課題である。

市長 談合情報があれば、調査委員会を設置し、調査をして、はっきりさせる。

2. 豊前市職員の採用と教育について

議員 職員数は、260名であるが職員採用長期計画は、あるのか。人件費総額、財政力指数の見込み、技能労務職員の在籍はどうなっているのか。

職員の政策形成能力の向上と、説明責任の強化を図るためどのように、職員に指示・指導をしているのか。

総務課長 第2次行政改革大綱で平成17年までに職員数を268名に決定、現在、260名で達成している。

更に、市職員を減らす必要性を認識し、第3次行政改革大綱策

定に向けて委員会を発足させ、内部作業を進めている。その中で、技能労務職員の人数或いは必要性等について方向性を出していきたい。

財政力指数の見込みは、三位一体改革の全体が不透明な中、現時点では、これを見通すのは困難、交付税改革で不交付団体の割合を、更に3分の1程度増やす国の方針なので、財政力指数の見込みは上昇すると予想される。財務課長より現在の財務状況、今後の財政見通し等を全職員に説明を行い、その他、所属長連絡会議や、企画調整会議を通じて職員に指示を行っている。

3. 新北九州空港の開港に関連して

議員 新北九州空港開港に関連して築城航空自衛隊の活動範囲が、変更され航空機による騒音問題が拡大されるのではないかと予測される。そのため防衛予算補助基準に該当するように努力すべきだと思うがどうか。

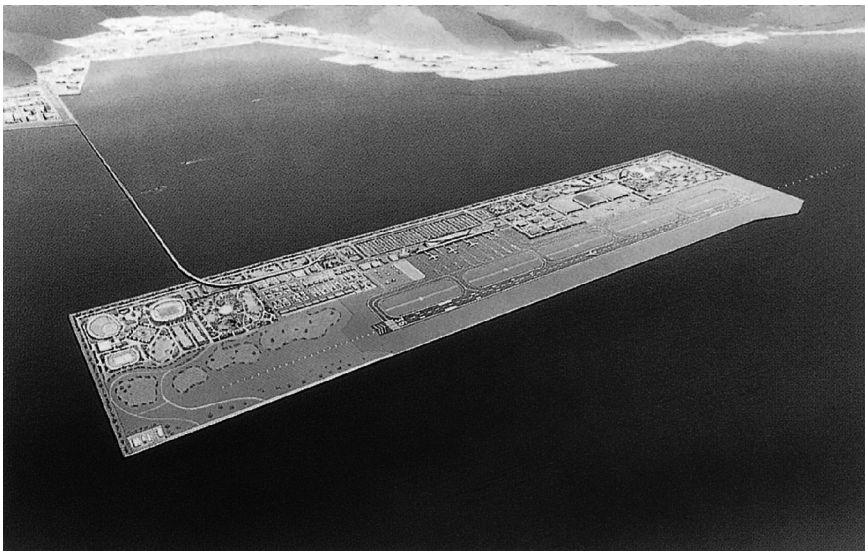
新北九州空港開港、自動車100万台生産都市の一環として、東九州自動車道建設と併せて、新北九州空港から中津市までの湾岸道路の計画があるが、市長の考えを。

総務課長 築城航空機騒音地域が拡大されるのではないかと言う問題については、関係官庁に問題提起を行政として、行っている。

現時点では、補助地域に該当することは、かなり厳しい回答である。

市長 周防灘湾岸線道路建設は平成6年、建設促進期成会を結

成し福岡県、国交省、及び道路公団に早期建設を要請しているが、今だ、荻田町の一部しか、着工できてない現状である。ご指摘の道路計画についても、京築広域圏事務組合にある事務局でも検討している。この道路は、自動車100万台構想と並ぶ重要な道路であり、今後、国、県に対し早く実現できよう要請して行く。



新北九州空港 完成予想図



爪丸裕和議員の質問

1. 公共事業の見直しについて

議員 今後の区画整理、公園整備、街路整備などの事業について、どのような計画を立てているか。又、建設課で取り組む四郎丸・野田線及び新たな補助事業計画について説明を求む。
今日まで進めてきた下水道事業は、生活環境の面からも進めて

いくべきだと思うが、現在の事業認可の進捗状況と、今後どのように事業を進めていくのか説明を求む。

都市計画課長 赤熊南土地区画整理事業は、平成17年度で約85%の工事が終わる。
今後は、公園の築造、集会所を県と市の合同で進めている。
県営住宅50戸と市営住宅の建設、保留地と市有地の処分、上町・荒堀線の道路整備計画、八屋・荒堀線の道路整備計画を平成18年度から平成24年度ぐらいにまで整備する計画である。

建設課長 八屋・求菩提線の道路改良工事は、平成11年着工、本年度末に完成予定で又、同路線の歩道設置は、平成13年着工、平成18年度に完成予定である。
四郎丸・野田線道路改良工事は、平成15年着工、平成19年度に完成予定である。

今後の公共事業の見直しは、国道、県道、広域農道、広域基幹林道等を含め、重点路線を整備したいと考えている。

上下水道課長 公共下水道の事業認可区域は、平成19年度で整備完了予定である。

今後は、企画調整会議等で十分検討し、事業を進める予定である。

2. 入札制度について

議員 今日まで入札制度を改正してきているが、入札制度がどのように改善されたのか。

財務課長 前にもお答えしたように、予定価格の事前公表の廃止、指名業者の入札前の公表廃止、指名業者の数を増やすなど、行って来た。改善してから3カ月であり、今暫く状況推移を見守りたいと考えている。

議員 3月議会の時指名業者を増やすことは、賛成だったが、予定価格の事前公表を廃止することは、落札率が逆に上がるのではないかと、考えていた、まさにそのとおりになった。予定価格を元に戻す考えはないのか。

助役 予定価格の事前公表は、本年から廃止をした。
今後、予定価格を公表するかしないかを含めて、入札制度の改善に努めたい。

議員 経営事項審査結果及び工事成績に基づく点数、発注工事の契約実績点数、施工能力判定点数の基準により、指名業者のランク付けする制度に付いて考えを聞きたい。

財務課長 豊前市建設工事に係る指名競争入札参加の資格及び審査等に関する要綱及び工事の種類別施行能力の判断基準に基づいて、経営事項審査結果による総評点と、工事成績に基づく点数、発注工事の契約実績点数、施工能力判定点数を加算し、総合点数を基準に当てはめ、業者のランク付けを決めている。

議員 経営事項審査は過去何度も見直されてきたが、技術者の数による能力判定区分が、未だ低いと思われる。

行政見直しの中で健全な業者の育成のため雇用数を重視して頂きたい。

財務課長 従業員数の点数化については、他市でもやっており、点数化すれば可能である。ABCランク表の透明性もあるので総合的に見直しを考える。

山崎 廣美 議員の質問

1. 千ばつ対策について

議員 千ばつ被害戸数及び被害面積、補助事業の実施件数と内容、平成6年度の千ばつ時、井戸の掘削件数と管理状況、農業用溜池等の状況及び用水計画はどうなっているのか。

農林水産課長 現地調査の結果被害面積は、164・9ha被害箇所61件で総事業費が約2773万円程度である。

建設課長 平成6年の井戸とポンプの管理状況は約10年経っているの、管理自体が難しいという地域もあるが、常時使っている所もかなりある。

農業用溜池110箇所、総貯水量は231万5250トンで、有効貯水率は80%ぐらいと思われる。

土砂等の堆積で、有効貯水量が確保されない溜池が相当数あると思われる、浚渫工事が必要なのところがある。
この千ばつで、陳情箇所があれば、県に要望したい。

議員 千ばつの有ったときは、

その都度、補助事業を組むのではなく、今まであった井戸の有効利用、計画的な改修等が必要ではないか。

1ha当たり稲を作付けしてから刈り取りまで400トンの水が必要、当市の作付け面積は、1000haであるので、溜池の総貯水量231万トンだけでは、水不足が発生するが、どのように考えているか。

農林水産課長 今後の干害に対するさく井、ポンプについては、今まであったものを把握し、活かしていきたい又、溜池だけでは、水不足になるので雨水も利用して溜池を潤わせる方向で施工したい。

夕田池(横武)の改修についても、池尾池(横武)にも水をまわせないか検討したい。

2. 農業委員会委員定数について

議員 農業委員の選挙定数は、17名であるが、定数は何年前に改定したのか。

その時の、農家数及び農地面積はどれくらいであったのか。又、近隣の類似団体での定数状況はどうか。

集中改革プランに農業委員定数

の変更を、盛り込む考えはあるのか。

農業委員会局長 農業委員は、17名の選挙委員と推薦された5名で合計22名の委員で構成され、平成2年3月23日に改定がなされた。

農業者数は、現在2977世帯、農地面積は、1950haである。近隣の農業委員数は、行橋23名、苅田14名、勝山17名、豊津15名

犀川17名、椎田23名、築城20名、吉富15名、新吉富17名、大平18名である。
今後の農業委員の定数については、関係機関、関係団体と十分に協議等を行いながら、適切に考えたい。

総務課長 集中改革プランに農業委員の定数を盛り込むことは、関係団体等と十分協議し、対応したい。



干害によりひび割れた稲田